

誤嚥(ごえん)性肺炎って？

令和4年10月15日発行

リハビリテーション技術科

誤嚥(ごえん)性肺炎とは

最近よく「誤嚥」や「誤嚥性肺炎」という言葉を耳にされた事があると思います。

食べたものは、口から喉を通過して食道から胃に運ばれます。途中、喉を通る時、

気管に異物が間違っていると反射的に「ごほん」とむせて異物を出します。

しかし、飲み込みの機能が低下し、誤って気管に入る事を「誤嚥」といいます。



誤嚥すると

食べ物や唾液に付着した細菌を誤嚥し、肺炎になる事を **誤嚥性肺炎** といいます。

誤嚥性肺炎は、65歳以上の高齢者に起こる肺炎の多くが誤嚥性肺炎と言われています。

誤嚥性肺炎の症状

誤嚥性肺炎に先立って起こりやすい症状

- ・食事中によくむせる
- ・常に喉がゴロゴロ鳴っている
- ・唾液が飲み込みづらい

よくみられる症状

- ・発熱や咳や痰が出現します。重症化すると、酸素不足になり呼吸苦が出現します。

誤嚥性肺炎の予防

①口腔ケア 義歯手入れ 歯磨きや義歯洗浄をしてお口の中を清潔にしましょう。

②水分でむせる場合は、とろみを使用し水分の流れを遅く・まとまりやすくします！

③飲み込む力を鍛えましょう～♪ 例) 口腔体操 歌唱 早口言葉



舌を鼻の頭につけるように上に動かしましょう。



舌を顎につけるように下に動かしましょう。



舌をできるだけ前に出し左右に動かしましょう。



口の周りをなめるように舌を左右にまわしましょう。